

日時：2024年7月9日（火）13:00～14:30 (JST)

場所：経営情報学部棟1階 4107教室

「海外移住と日本人」

講師 大石奈々氏

(メルボルン大学アジア研究所准教授)

近年、若者や子育て世代、富裕層などの間で海外移住への関心が高まっています。2023年には海外に永住した日本人は約57万4千人と過去最高を記録しました。

こうした人々は、なぜ海外に向かい、移住先でどのような課題に直面しているのでしょうか。また、海外移住の増加は日本の将来にどのような影響を及ぼすのでしょうか。移住という視点から日本社会を見つめ直し、「誰もが住み続けたい日本」を作るにはどうすれば良いか、皆様のご意見も伺いつつ、一緒に考えていきたいと思えます。

参考文献：大石奈々著 (2024) 『流出する日本人—海外移住の光と影』 中公新書

● 静岡県立大学学生、大学院生、教職員のどなたでもご参加いただけます。申し込み不要です。

共催：静岡県立大学大学院国際関係学研究科附属
グローバル・スタディーズ研究センター(CEGLOS)
問合せ先：石井由香（国際関係学部） yishii@u-shizuoka-ken.ac.jp



大石奈々著

流出する日本人

—海外移住の光と影

ワーキングホリデーの若者から
子育て世代、富裕層、リタイア世代まで

日本をなぜ離れるのか、
移住に潜む
リスクとは

中公新書 2794